



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No. 28 (平成30年12月10日発行)

佐高 SGH ファイル

留学生 紹介 (Diana Loza)

本校留学生のディアーナを紹介したいと思います。ディアーナはドイツ出身で、この夏8月27日に初めて本校を訪れました。1年1組に所属し、本校生とともに楽しく学校生活を送っているようです。授業を理解するのはまだ大変なようですが、日本語の上達には目を見張るものがあります。来年の7月まで本校生として佐高に通学します。それでは、1年1組のシーマン花連さんにインタビュー形式で紹介してもらいましょう。



Q1:なぜ日本に留学したいと思ったのですか？

留学のことについての説明会や留学を行っている団体の話を聞いた後に、私も留学したいなと思いました。留学したい所を決める際に、私とその国の言語や文化、芸術に興味を持ち、10ヶ月も過ごすことができる国を選ばなければなりません。そこで、私が11歳のときからずっと興味をもっていた日本に行こうと決意しました。

Q2:この体験を通して何を身に着けたいと思っていますか？

日本での生活で、日常で使われる言葉をすべて理解し、人と自由に話したいです。そして日本の文化や伝統についてより深く理解し、より快適な日々を過ごしていきたいと思っています。

Q3:この3ヶ月間では、何を学びましたか？

たくさんのことを学びました！もちろん、日本語をたくさん学べて人と話すときは内容を大体つかむことができました。まだ、話していることが理解できない時も多少ありますが、それらを乗り越えられるように今一生懸命に頑張っています。言語の他には文化、例えばお辞儀のことについて詳しく知ることができました。日本に来る前からお辞儀のことは知っていましたが、実際にやってみたときには少し違和感を抱きました。しかし、今ではなんの違和感もなく、普通の行為だと感じています。

Q4:日本に来て1番驚いたことは何ですか？

これって言ったものは特にはないですね。すでに日本のことは結構知っていて、人の前で恥ずかしいことをしたくなかったので、「日本に行ったらしてはいけないこと」といった動画やブログなど読んでいました。強いて言うのなら、暑さに少し驚きました。日本に着いて空港から出た時に、42度くらいの熱風が襲ってきました。ドイツもちろん暑かったですが、日本ほどの湿度は初めてだったのでびっくりしました。



Q5:最後に、みんなへ一言お願いします。

私と話してみたいと思ったら、恥ずかしがらずに来てください！人と話すことが大好きで、みんなと話すことによって自分の日本語力を向上させていきたいです。